

授業科目 理学療法学概論

【担当教員名】 大西 秀明、小林 量作、古西 勇	対象学年	1	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## 【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	○

## 【概要・一般目標：G10】

理学療法の歴史や理学療法の基盤となる基礎知識を総論的に学習する。また、理学療法士を目指す学生に求められる資質を理解し、資質を高めるための基本姿勢・態度・技能を学習する。

## 【学習目標・行動目標：SBO】

1. 理学療法の役割と歴史が説明できる
2. 理学療法の身分・職域および関連する法律について説明できる
3. 理学療法の業務内容と対象疾患について説明できる
4. 理学療法の現状と課題について説明できる
5. 理学療法士の資質について説明できる
6. 代表的な疾患に対する理学療法について説明できる

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション・理学療法業務の概論	1	古西 / 講義
2	各種疾患に対する理学療法学	2	古西 / 講義
3	各種疾患に対する理学療法学	3	古西 / 講義
4	理学療法士に必要な資質	3	古西 / 講義
5	理学療法と関連職種	3	古西 / 講義
6	理学療法の内容と対象疾患	3	小林 / 講義
7	理学療法の内容と対象疾患	3	小林 / 講義
8	理学療法の現状と課題	4	小林 / 講義
9	理学療法の現状と課題	4	小林 / 講義
10	理学療法の役割・歴史・関連する法律	1	大西 / 講義
11	理学療法士の資質、身分	5	大西 / 講義
12	理学療法の具体例	6	大西 / 講義
13	理学療法の具体例	6	大西 / 講義
14	理学療法士の身分・適正、職業倫理	5	五十嵐（非常勤） / 講義
15	理学療法の具体例	6	大西 / 講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	概説理学療法		文光堂	2007・5,000円＋税
参考書				
その他の資料				

## 【評価方法】

各回の出席（出席票や課題、小テストの提出で確認することあり）や授業態度（遅刻せずに席についているか、授業中に無断で席を立ったり授業と関係のないことをしていないか）を定期試験を受ける必要条件として評価する（15回中3回以上の欠席で、定期試験を受けられない場合あり）。定期試験は筆記試験とし、試験範囲は各回の学習課題に関するもので、教科書の内容の基礎的・専門的知識の理解を問う問題と、それに基づいて自分の意見を論理的に述べる問題を出题する。

## 【履修上の留意点】